

NIHON UNIV. Equestrian Team

Vol.30
2019. winter



「自覚と責任」

監督 諸岡 慶

今年度の三木ホースランドパークで行われました、全日本学生馬術三大大会において9連覇を達成することが出来ました。今年もOB・

OG、大学関係者等の皆様方にたくさんのご支援ご声援を頂戴したことが優勝に結び付いた一因だと感じています。この場をお借りして御礼申し上げます。

試合結果としては障害馬術、馬場馬術、総合馬術とすべての種目において団体優勝し、個人成績でも3年名倉が2冠を取りチームを牽引してくれました。また今年は勢いのある下級生たちが試合の流れを引き寄せてくれました。この結果に満足することなく更なる技術向上に励んでもらいたいです。

しかし課題も多く残る試合となりました。試合に向けてチーム全体での士気が上がらない時期があり、最上級生に求められる「チームをまとめる力」を持ってほしかった。レギュラー選手間わず最上級生として自覚と責任ある行動がチーム

全体の活気に繋がります。監督の私を含めコーチ陣が常にいるわけではありません。日本大学の教育理念である「自主創造」の精神を大切に、馬の体調をよく観察し、悩み考えてトレーニングを行うことによって、社会へ出たときに困らない人材になると考えております。大学を卒業し社会に出たときに日本大学馬術部での試合で活躍したことや、総務としてチームを支えたことなど、胸を張って堂々と伝えることができれば私たちの指導者冥利に尽きます。

さて来年は節目の10連覇に挑みます。常に新しい発想でレベルアップを図り華麗な人馬一体の演技を皆様方に披露できるよう努力してまいります。

今後も変わらぬ学生へのご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

全日本学生馬術三大大会三種目総合9連覇!!



今回の全日本学生馬術三大大会(10/31~11/5)は 障害馬術競技、馬場馬術競技、総合馬術競技の三種目で団体優勝し、個人では馬場馬術競技並びに総合馬術競技で3年名倉賢人が優勝し2冠を達成、本学は三種目総合でも優勝し、見事9連覇を勝ち取りました!!

今回より障害馬術競技と馬場馬術競技の順序が逆になり、大会は馬場馬術競技から6日間の戦いが始まりました。初日の規定演技で3年名倉賢人と桜頂が最終得点率67.031%でトップに立ち、4年古野博人と桜陽が最終得点率66.344%で続き、3年谷津友崇と桜雲が最終得点率64.250%と3人馬ともに団体成績に大きく貢献する演技を披露した結果、団体総得点率で2位の立命館大学に約5%の差をつけて団体優勝を決めました!!また個人枠で出場した2年重藤エディット彬と桜羽も最終得点率63.531%の成績を出し、4人馬全員が決勝に進出する快挙を成し遂げました。

翌日行われました決勝競技の自由演技課題では4人馬とも観客を魅了する素晴らしい演技を披露し、3年名倉賢人と桜頂が最終得点率

68.340%で見事個人優勝を決め、4年古野博人と桜陽が最終得点率67.075%で第3位に、谷津友崇と桜雲が最終得点率

64.525%で第5位に、2年重藤エディット彬と桜羽が最終得点率62.965%で第7位に入賞しました。

障害馬術競技では、第一走行目は人馬ともに緊張からか、3年名倉賢人と桜真・2年松若流星と桜照・2年吉永翔司と桜艶・2年谷口遼斗と桜魂の4人馬が減点4で並び、3年有賀翔と桜浩が減点8で走行を終えました。団体は暫定2位でスタートし、暫定1位の同志社大学と減点4の差で2日目に臨みました。

第二走行目は3年有賀翔と桜浩・2年吉永翔司と桜艶・2年谷口遼斗と桜魂が減点4、3年名倉賢人と桜真・2年松若流星と桜照が減点8で走行を終え、団体は総減点28で同志社大学の成績に並び、最終的に総タイム約13秒の差が決め手となり優勝しました!!個人でも2年吉永翔司と桜艶が6位、2年谷口遼斗と桜魂が7位に入賞しました。ここまで馬場馬術競技と障害馬術競技を団体優勝したことで、翌日行われる本学の得意分野である総合馬術競技に良い流れで臨むことが出来ました。

総合馬術競技では、調教審査で3年名倉賢人

と桜望が72.92%でトップに立ち、2位に2年吉永翔司と桜虎が71.50%、3位に1年瀬川裕哉と桜宝が70.35%で続き、5位に1年吉田ことみと桜里、8位に1年楠本将斗と桜空と全員上位に入る演技を見せ、最終日の耐久審査と余力審査に臨みました。耐久審査では、5人馬中4人馬が無過失で難しいコースを走り切り、2年吉永翔司と桜虎がタイム減点4.4でした。最終競技の余力審査では4人馬が満点で走行を終え、最終走行人馬の3年名倉賢人と桜望が初日からトップに立ち続けたプレッシャーに見事打ち勝ち優勝、2位に1年瀬川裕哉と桜宝が続き、4位に1年吉田ことみと桜里、5位に1年楠本将斗と桜空、6位に2年吉永翔司と桜虎が入り、上位6位までに本学から5人馬が入賞する強さを見せ、団体も2位専修大学に減点数約46の大差をつけ優勝しました!!

三種目総合では、1266ポイントを獲得し、2位の専修大学が519ポイント、3位の立命館大学が510ポイントとなり昨年よりも圧倒的な差をつけ9連覇を果たし、全日本学生馬術三大大会2019が無事に幕を終えました。これらの成績を残せたのは、監督はもちろんコーチの方々、差し入れを持ってきてくださり、様々なサポートをしてくださったOB・OGの皆様、保護者の方々のおかげです。今年の全日本学生馬術三大大会が終わり新しい代になっても、連覇記録を継続するため部員一同気を引き締め日々精進していきたいと思いますので、これからもご声援の程宜しくお願い致します。

令和元年度全日本学生馬術三大大会

V2

第62回全日本学生賞典馬場馬術競技大会優勝 第62回全日本学生賞典総合馬術競技大会優勝

3年 名倉賢人 桜頂 / 桜望

全日本学生馬術三大大会では日本大学馬術部の先輩方が築き上げた団体優勝の連覇を繋げ、また3種目とも優勝し完全優勝する事を意識して挑戦しました。

馬場馬術競技では、桜頂と団体優勝、個人優勝という結果を残すことができました。個人優勝できるとは考えていませんでしたが団体ではチームに貢献したい想いは人一倍強かったので最後まで気持ちに添えてくれ頑張ってくれた桜頂には感謝しかありません。予選、決勝共に納得のいく演

技ではありませんでしたが、団体優勝に貢献できて良かったです。

総合馬術競技では、桜望と団体優勝、個人優勝という結果を残すことができました。調教審査で72.92%、耐久審査、余力審査と減点0で桜望がすごく頑張ってくれて優勝することができました。桜望とは全日本ヤング総合でも優勝していたので今回も勝ちたいと強く思っていました。団体優勝にも貢献できた事がとても嬉しく思います。そして、すごく頑張ってくれた桜望には感謝の気持ちでいっぱいです。



監督、コーチ陣そしてサポートして下さった皆様のお陰です。たくさんの方々に支えられている事に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

第62回全日本学生賞典馬場馬術競技大会

個人3位 4年 古野博人 桜陽



今回、2回目の全日本学生馬術三大大会に出場させていただきました。予選の学生賞典馬場馬術競技では、66.344%で、予選2位通過致しました。次の日の決勝では、67.075%という結果で3位になってしまいました。今回の全日本学生は自分にとって最後の大きな試合になりました。しかし、自分では満足のいく演技が出来たので、悔いはありません。個人は3位でしたが、団体が優勝出来たので良かったです。

団体優勝したのも、監督、コーチはもちろん今大会にあたってサポートしてくれた皆様のおかげで感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

第69回全日本学生賞典障害馬術競技大会

個人7位 2年 谷口遼斗 桜魂



今回は桜魂とコンビを組み、全日本学生賞典障害馬術競技に出場させて頂きました。

結果は初日・2日目ともに減点4で、満点で走行できなかった悔しさも残りますが、2日間通して桜魂が良く頑張って障害を飛んでくれました。1年間の集大成として出場したこの大会で7位という成績を残せたことを誇りに思います。

この結果を出せたのも監督、コーチはもちろん今大会にあたってサポートして頂いた皆様、パートナーの桜魂のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。来年はさらに上を目指して精進していきます。

第69回全日本学生賞典障害馬術競技大会

個人13位 2年 松若流星 桜照



今回は桜照と共に全日本学生賞典障害馬術競技に出場させて頂きました。桜照とはコンビ歴が浅く、桜照の特徴を掴む事で精一杯でした。しかし、経験豊富な桜照は私をリードして良い状態で試合に挑めたと思います。

個人の結果としては2日間落下をしてしまいチームの足を引っ張ってしまいましたが、チームの活躍の御陰で団体優勝する事が出来ました。この結果は監督、コーチ、先輩や後輩のサポートがあったからこそ成し遂げられた結果だと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この大会で失敗した事を次の大会でしないよう、パートナーである馬の事を第一に考えて日々努力していきたいです。

第62回全日本学生賞典総合馬術競技大会

個人2位 1年 瀬川裕哉 桜宝



今回、桜宝とのコンビで全日本学生総合馬術大会に個人枠で出場させて頂きました。

桜宝とは試合の1ヶ月前程にコンビを組み、短い期間という事もあり不安もありましたが、コーチ陣のご指導もあり、本番では思い切って走行する事ができ、個人準優勝という結果を出す事が出来ました。この様な結果を出せたのも監督・コーチ陣・その他周りのサポートがあってこそなのでとても感謝しています。

今後はさらなる高みを目指し、日々精進して行きたいと思っています。ご声援よろしくお願い致します。

大魂!



全日本学生馬術選手権大会（御殿場市馬術スポーツセンター）

今年の全日本学生馬術選手権大会は御殿場市馬術スポーツセンターで行われました。

全日本学生馬術選手権大会では男女別で提供された貸与馬に乗り、決められた時間内で運動時間で初めて乗る馬の特徴などを把握し競技に挑むため、高度な技術が求められる大会です。

本学からは男子5人、女子5人が関東予選を突破し今大会に出場致しました。決勝戦には、男子が有賀、名倉、楠本、女子が藤岡、伊藤、吉田が勝ち進み、男子は見事名倉が優勝致しました！他の選手も男女ともに上位入賞を果たすことができ、日大の強さを表すことができたと思います。

今回選手たちが活躍できたのも日頃から応援して下さいの皆様あってのことだと思います。来年は男女ともに優勝できるよう出場した選手、部員一同皆様への感謝を忘れず日々精進していきたいと思えます。今後とも変わらぬ応援の程宜しくお願い致します。



～今年のNUジャンバー紹介～

今年のNUジャンバーは昨年と同様、ドイツの登山メーカーです。

男子女子共に青色で揃えました。胸元に「NU STYLE」のワッペンをあしらえ、肩には個人の名前が入っています。

防水かつ薄手で従来のジャンバーより保温性、防寒性に優れています。また、女子用ジャンバーはウエストに絞りが入っていてスタイルよく見えるのもポイントです！

ひときわ目立つ今年のジャンバーですが、気持ちを一つに頑張っていきたいと思えます。



～新施設完成！～

新たに馬場横に縦2m横22mの鏡が設置されました！

従来の鏡より何倍も大きく、1蹄跡すべてに鏡が設置されているので運動しながら馬体や姿勢の確認をすることができ練習に大いに役立っています。

これまで見るができなかった見方から練習に役立て、部員一同さらなる競技力向上を目指します！



元競走馬の紹介

今回は、競走馬として出走していた引退後乗用馬として
日本大学馬術部に活躍している馬をご紹介します！



名 前 ● 桜灯（ラディッシュエース）
品 種 ● サラブレッド

性 別 ● セン
生年月日 ● 平成10年4月24日

毛 色 ● 栗毛

桜灯は北海道加野牧場で生産され、父マジックマイルズ、母ミドリリユートの産駒。競走馬時代はラディッシュエースという名で出走しており9戦0勝で引退しております。その後、乗用馬にリトレーニングされ日本大学馬術部ではジェフティと呼ばれており、馬場馬として活躍しています！

自分の肩でぐいっぽをしたりポーっとしていると舌がでてきてしまったり、変な癖を持っているが馬場馬のスーパーホース！全日本馬場馬術大会にも出場し入賞するなど、部員の競技力向上に多大なる貢献をしてくれています！馬術部の中でだいぶ高齢な馬ですが年を感じさせないイケメン君でまだまだ元気です☆



41名の部員紹介



(4年) 古野 博人
生物資源科学部 国際地域開発学科



(4年) 磯野 太
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(4年) 霜島 果月
生物資源科学部 国際地域開発学科



(4年) 丹野あんず
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(4年) 中込 沙樹
生物資源科学部 動物資源科学科



(4年) 寺澤 穂
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(3年) 有賀 翔
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 氏部 倫大
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) 田中 那樹
生物資源科学部 生命農学科



(3年) 名倉 賢人
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 酒井 将慶
生物資源科学部 生命農学科



(3年) 谷津 友崇
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(3年) 坂田 樹基
生物資源科学部 動物資源科学科



(3年) 石槽 大樹
生物資源科学部 動物資源科学科



(3年) 堀澤 圭太
生物資源科学部 動物資源科学科



(3年) 野々垣 希鈴
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 伊藤 七菜海
生物資源科学部 動物資源科学科



(3年) 藤岡 彩美
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 木村 峰々
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) 萩原 ひな
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(2年) 佐々木 凱輝
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 重藤 エディット 彬
生物資源科学部 獣医学科



(2年) 鈴木 一生
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 谷口 遼斗
生物資源科学部 動物資源科学科



(2年) 平山 直人
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 松若 流星
生物資源科学部 獣医学科



(2年) 山崎 魁人
生物資源科学部 動物資源科学科



(2年) 吉永 翔司
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 松川 紘大
生物資源科学部 動物資源科学科



(1年) 楠本 将斗
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 瀬川 裕哉
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 鷹見 優
生物資源科学部 国際地域開発学科



(1年) 中込 樹
生物資源科学部 国際地域開発学科



(1年) 大澤 将司
生物資源科学部 動物資源科学科



(1年) 吉田 ことみ
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 細川 由妃
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(1年) 堀坂 七菜子
生物資源科学部 生命農学科



(1年) 松尾 ゆずか
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 西尾 純伶
生物資源科学部 獣医学科



(1年) 坂井 千優
生物資源科学部 動物資源科学科



(1年) 澤登 ちほみ
生物資源科学部 動物資源科学科

令和元年度 前期行事予定



12月

- 障害総合馬術オーストラリア強化合宿
12月13日~19日
- 総合馬術ヤングライダー海外強化合宿
(オランダ) 12月15日~20日
- 総合馬術ジュニア海外強化合宿
(オーストラリア) 12月19日~25日

1月

- 初乗り会 1月1日
- 大会ホースショー 1月18日

2月

- 関東学生新人・OB競技会
2月28日~29日
- 第64回神奈川県馬術競技大会2020
2月29日~3月1日

3月

- 第64回三獣獣大学馬術大会
3月13日~15日
- ひょうごスプリングホースショー2020
3月20日~22日
- 関東学生ホーストライアル
3月25日~29日
- 第12回御殿場ジュニア馬術競技大会
3月27日~29日

4月

- 第57回東都学生馬術大会
4月3日~5日
- CCI2*-Lホーストライアル
4月10日~12日
- 御殿場馬場馬術競技会Part I 2020
4月11日~12日

5月

- 関東学生馬術選手権・女子選手権競技大会
5月15日~17日
- 第55回東日本障害馬術競技大会
5月22日~24日
- 全日本ヤング総合馬術大会
5月29日~31日

6月

- 御殿場馬場馬術競技会Part II 2020
6月20日~21日
- 関東学生馬術競技三大大会
6月25日~28日

卒業生の主な就職先

(順不同)

- 日本大学
- JRA日本中央競馬会
- 地方競馬全国協会
- 株式会社乗馬クラブクレイン
- 福井工業大学
- 獣医師
- 株式会社P&Pホールディングス
- SMBC日興証券
- 公益社団法人日本馬事協会
- ノーザンファーム
- 有限会社松風馬事センター
- 東海旅客鉄道株式会社
- 日本馬事普及

合宿所・馬場

〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野 840
TEL:0466-81-0288
FAX:0466-81-8885
▶ e-mail
nihonndaigakubajyutubu@gmail.com



○編集担当：霜島 果月 野々垣 希鈴